

2026年3月13日森林・里山整備ステップアップ講習会

# 「森の未来都市 神戸」が目指す 森と人との関係修復

神戸市副市長 黒田慶子



KOBE WOOD



# 神戸で進める森と人との関係修復

「森の未来都市 神戸」の2つの柱

## I 森林・里山の再生



## II まちの緑化



### ☀ 森林・里山整備に対する市の考え方

- \* 「きれいに」ではなく「持続させる」
- \* 元気に持続させる管理
- \* 森林を「資源」という視点で管理し、伐ったら放置しない

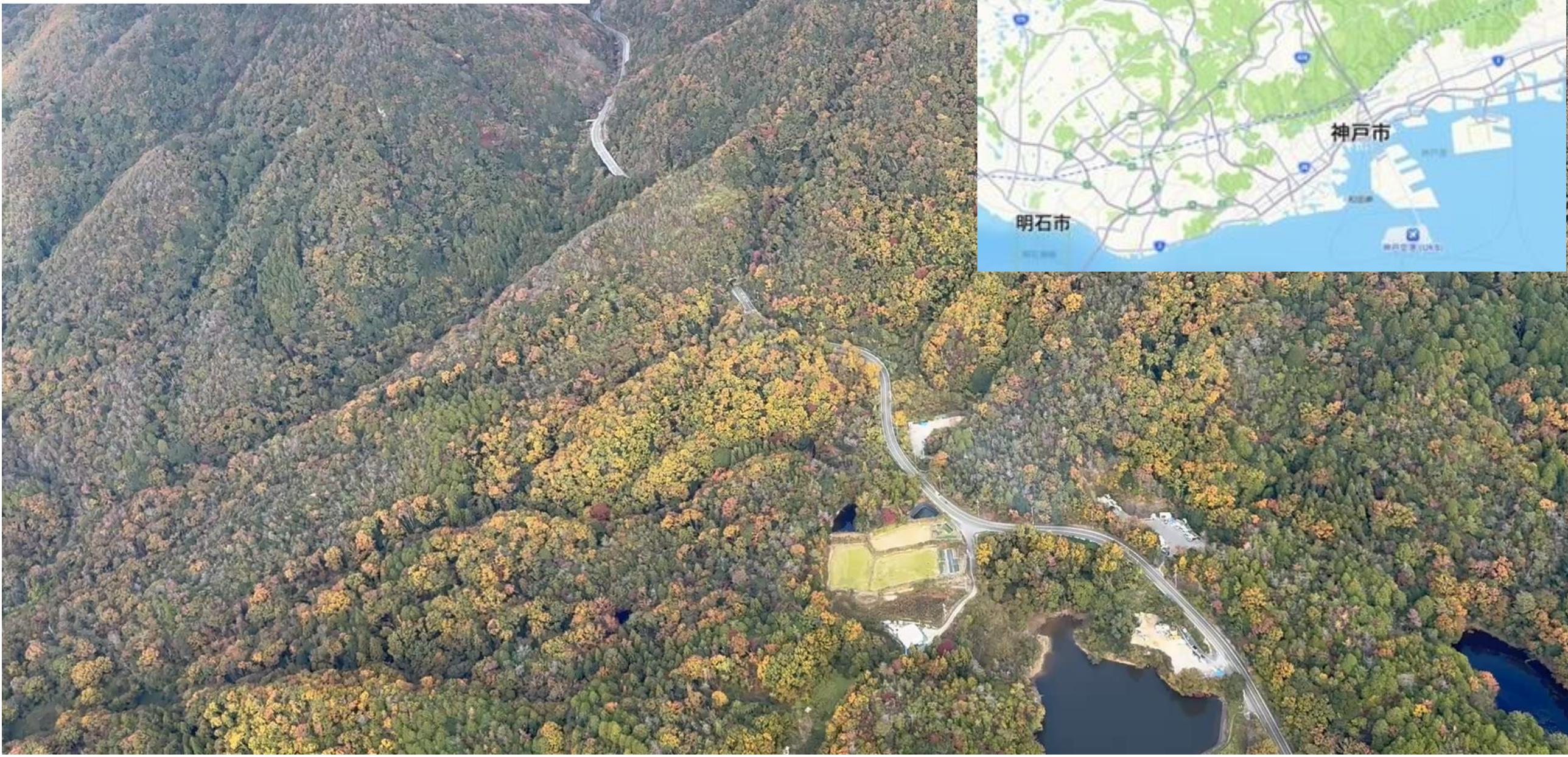


### ☀ 今後の展望

- \* 農村地帯の里山や竹林を広く管理
- \* 子の世代に元気な森を渡す
- \* 良い状態の森は生物多様性も豊か

# 神戸市の山：落葉・常緑広葉樹が混在、人工林はほとんど無い

神戸市北区山田町 2025年11月19日



# 森林の役目（機能、生態系サービス）

- ①資源供給：元は燃料・建築・工芸・農業資材  
農村の現金収入として重要だった
- ②防災：集落の背後の山
- ③農村文化：祭礼・工芸・指物など
- ④景観、安らぎ：観光、森林浴
- ⑤CO2吸収
- ⑥生物多様性の維持

今は都会の視点で⑤⑥のみに注目

- ・ 私有林の多い里山管理の難しさ
  - ・ 税金投入では焼け石に水
- ①による現金収入が無いと②～⑥は維持できない。



森林は市域の4割, 2万haもある

税金による整備では100年以上かかる

里山管理を再開するには  
地元の収入が必須

# 里山の生態系バランスが崩れた



耕作放棄地は復活させようとするが、  
森林の伐採～再生を考えていない

落葉ナラ類から常緑樹に変化  
→生物多様性の低下



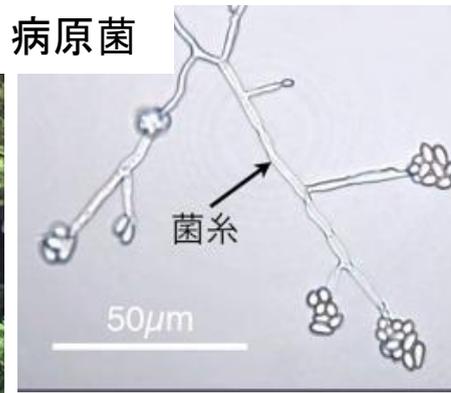
伝染病:ナラ枯れ  
大木から枯れる

枯れる前に伐る  
生態系の安定化を図れば良い  
→木が売れると枯れなくて済む

媒介昆虫



病原菌



被害木



# 神戸で“今風”資源利用 ▶ 持続可能かつビジネスに

○植林ではなく今ある大量の木をまず使う

▶ 行政主導のリセット伐採

○立木のデータで購入企業を探す

▶ 買い手を決めてから伐採

▶ 所有者の収入にする

▶ 行政が伴走

○曲がり材・枝も薪やチップに



六甲山材見本  
アベマキ/イロハモミジ/エノキ  
クスノキ/ケヤキ/コナラ  
シラカシ/リョウブ/ヤマザクラ



# 伐採翌春には旺盛な萌芽再生

前のスライドと同一場所 2025年11月

田畑や宅地の横には  
まだこんなにある

- 利用目的に応じた刈り払いや植栽(補植)を実施する
- 再生～次の利用で「資源循環」  
…ここまで責任を持つ

切株から  
萌芽再生

神戸市北区山田町

萌芽と実生の調査  
(神戸大学)



# 2026年冬の伐採

- \* 太い通直部は製材業と家具メーカーに売却予定
- \* 上部はシイタケほだ木と燃料

→カスケード利用



# 神戸材製品の展示



市庁舎1号館ロビーで展示

2026

KOBE

2.12 TUE — 13 FRI

OPEN

12:00 — 16:00

神戸市役所1号館 市民ロビー / 入場無料

# KOBE WOOD 展



「国産木材の魅力発信拠点 MOCTION」

2026年1月8日～20日

出展企業：大槻家具工房  
SHARE WOODS、土井木工株式会社  
合同会社六甲山クリエイティブラボ



# 付加価値の高いKOBEB備長炭で、資源循環を収入にする

- ▶ 6トンの試し生産2回 ▶ 高品質で好評
- ▶ 農産物や肉と地産地消へ

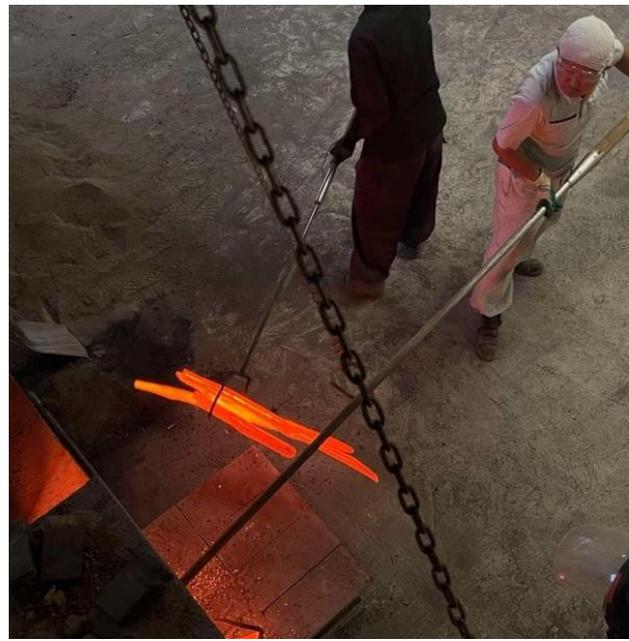
## ○神戸市で備長炭用炭窯設置

- ▶ 高付加価値の白炭 2千円/kg
- ▶ 現代手法：センサーで温度管理
- ▶ 産業化：公園樹木の循環利用

株) 四国の右下木の会社(徳島)と事業連携協定(2025)



落合中央公園のウバメガシ植栽地で伐採

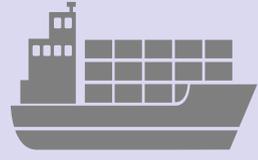


# 活動の皆様との協働について

森林を健康に持続させるには資源循環が必要

再生可能な資源を持続的に利用すること。リサイクルとは異なる。

1970年代から輸入依存  
大量生産・消費  
お金は海外企業・商社へ  
農林業の衰退を招いた



持続可能な社会か？  
安全・安心な生活か？

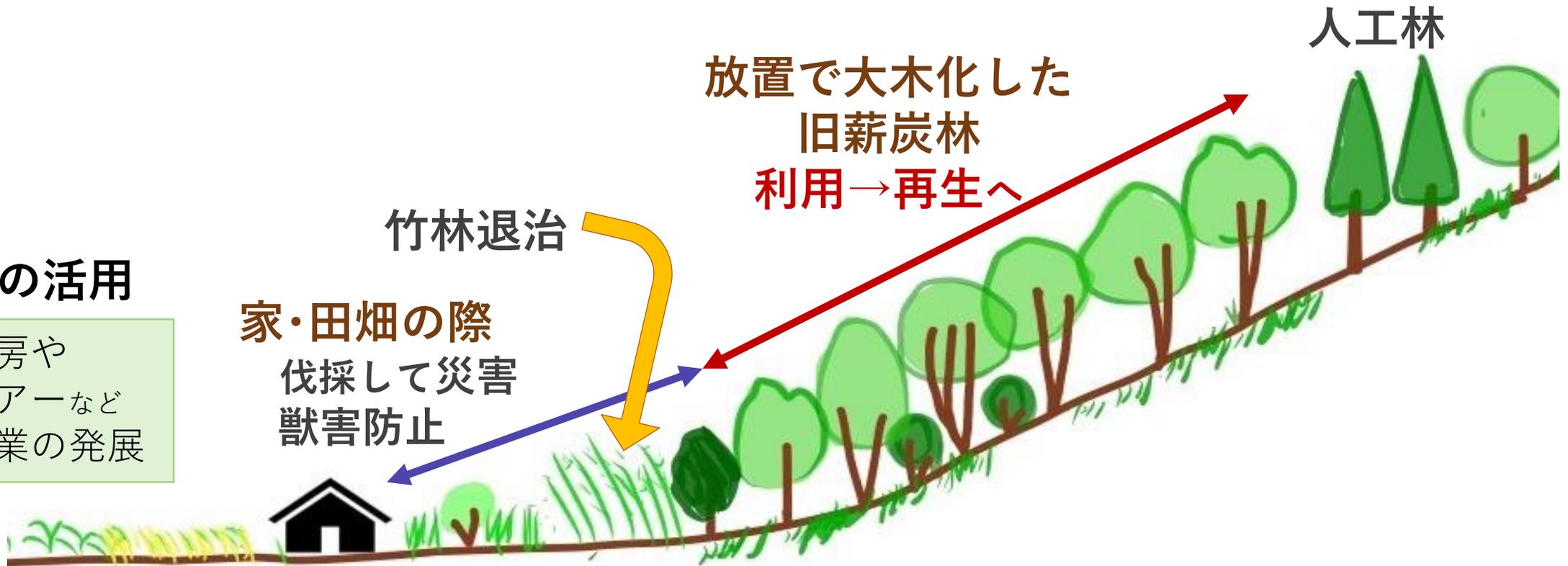
## 空き家の活用

里山工房や  
自然ツアーなど  
地場産業の発展

竹林退治  
家・田畑の際  
伐採して災害  
獣害防止

放置で大木化した  
旧薪炭林  
利用→再生へ

人工林



# 目標に向かう行動には、「観察眼」が必要 だから、森や田畑や史跡などに出向いてほしい

- ✿まずじっくり観察する
- ✿何が見えますか？
- ✿いくつ挙げられますか

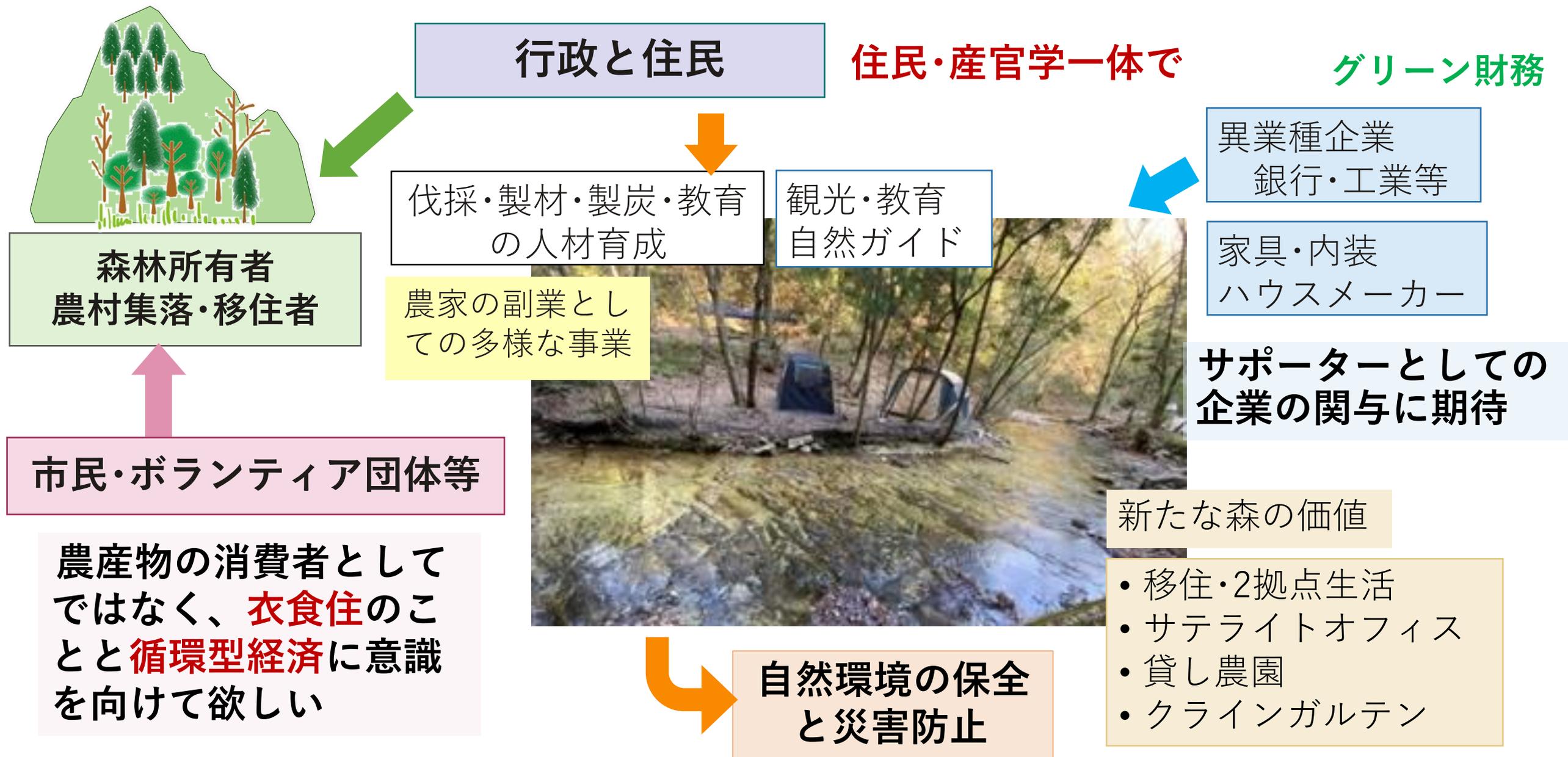
## 問いを自分で作る

- ✿森の中、木の多い場所は何故涼しいのでしょうか
- ✿ここは原生林でしょうか？

レイチェル・カーソンの「センス オブ ワンダー」  
自分の感度を上げる

- \* 「これは不思議だ」と「わかる・感じる」
- \* 自分自身が感度の高いセンサー

# 今後の方針：街と農村部の共感と行動で持続可能な社会に

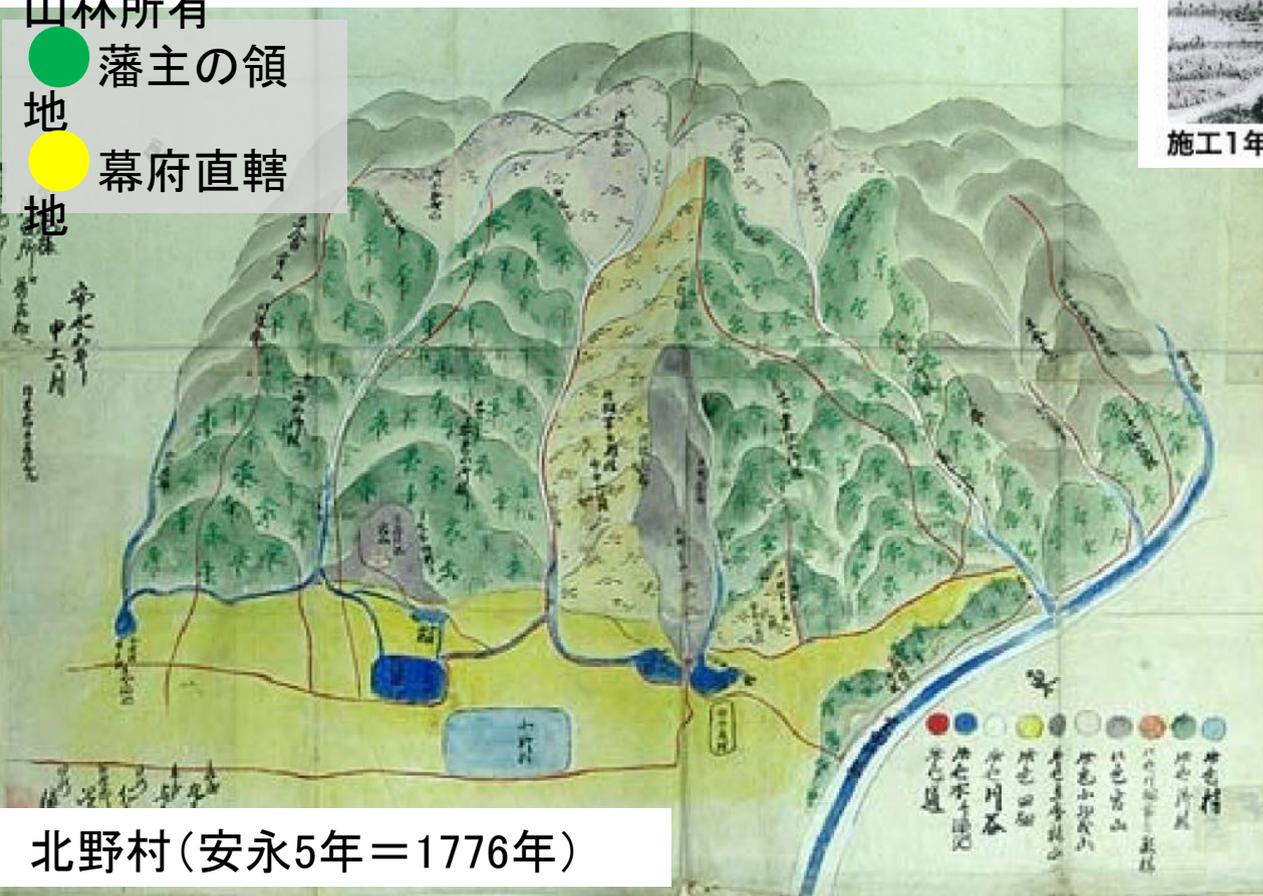


# 資料：六甲山は禿げ山？ 実は肥料用の草地がある里山

## 神戸の常識？

「六甲山は禿げ山だった。明治以降の植林で緑豊かになった」と語られるが、本当？

山林所有  
● 藩主の領地  
● 幕府直轄地



北野村(安永5年=1776年)

六甲山災害史  
兵庫県治山林道協会(1998)



施工1年目の再度山(ふたたびさん)(明治37年)

現在は著しい繁茂



施工115年目の再度山(平成30年)

森林の大半はアカマツ、山頂は草原

### 結論

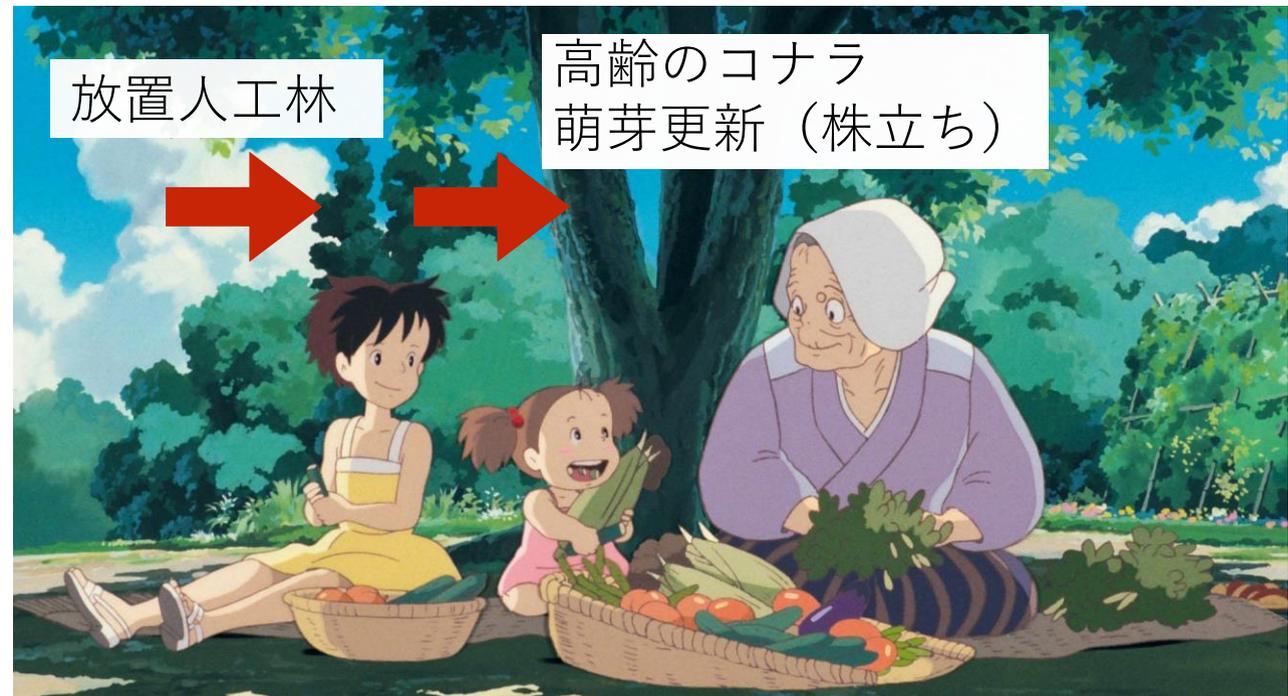
- \* 1700年代後半に人口増加。新田開墾で肥料・飼料が必要になり、草原を広げた。
- \* 裸地はあったが、全山禿げ山ではない。**木を伐りすぎたからではない。**
- \* 今は森の過剰繁茂が課題。**過去の成果よりも今後に目を向ける**必要がある。

# トトロの世界と現実の違い

15

公開許可画像

時代設定は1950年代  
しかし1988年の制作時の絵  
= 荒廃が進んでいた



放置人工林

高齢のコナラ  
萌芽更新（株立ち）



田畑を日陰にする  
放置二次林



1970年の関東地方（川越市）

# 歴史的資料でわかる里山の資源循環

## ゾーニングして資源利用と再生

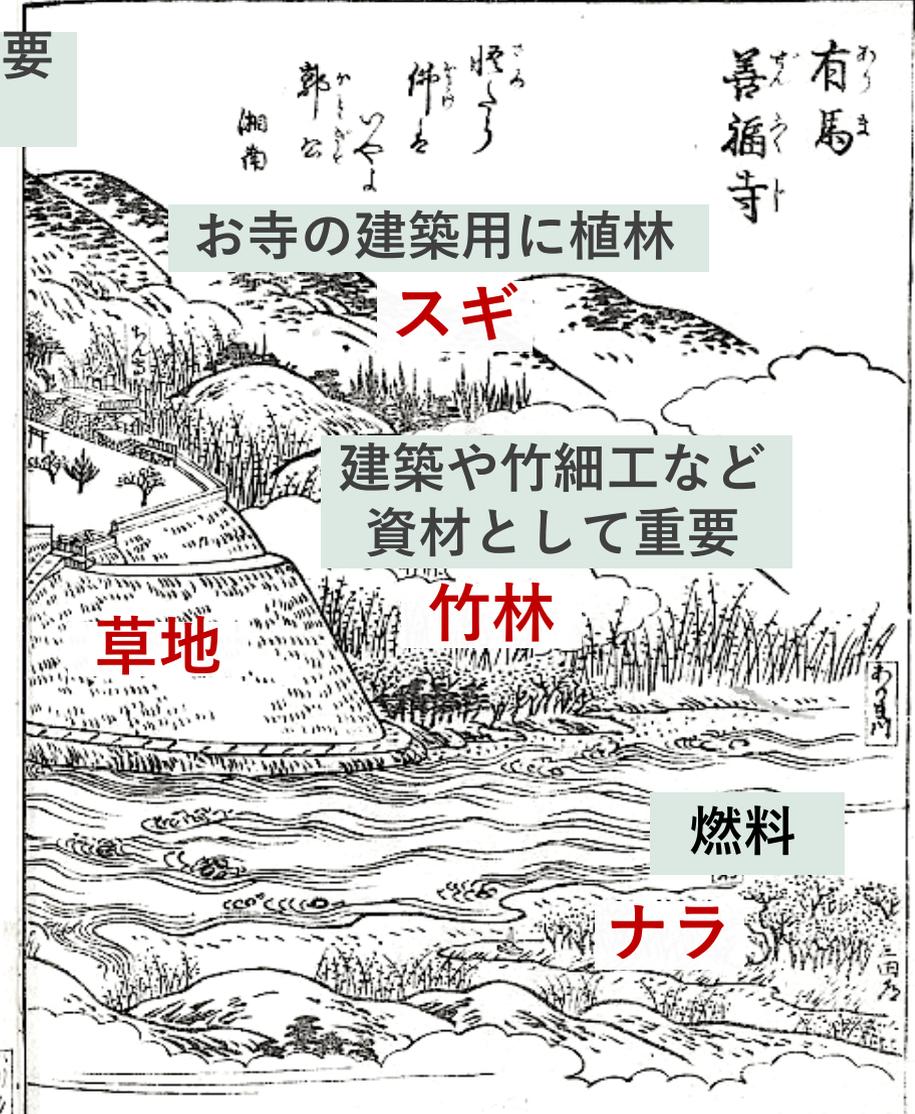
230年ほど前の有馬（神戸市北区）  
摂津名所図会1796年刊行



Google画像



竹は土壁の小舞（こまい）  
など様々な用途に使われた

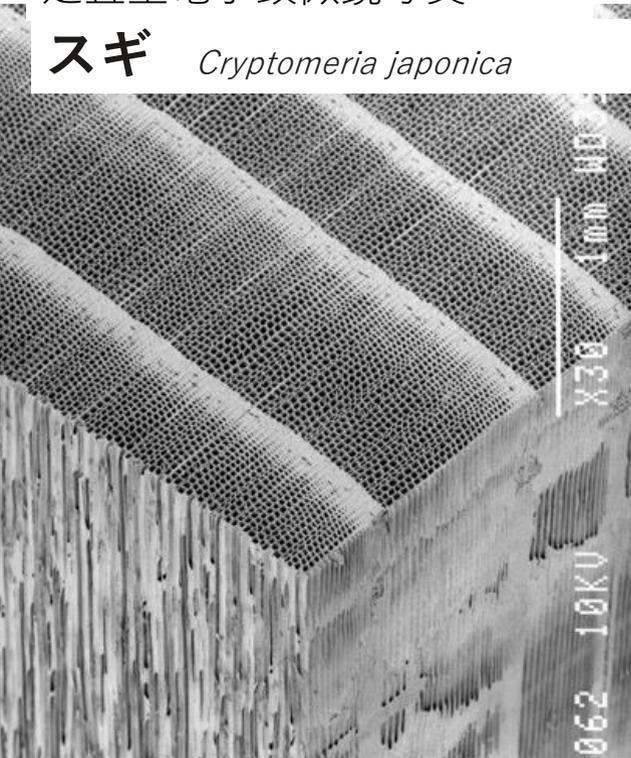


# 参考資料：針葉樹と広葉樹の用途とその特徴

スギ・ヒノキなど針葉樹は建築材  
優れた品質（世界でトップ）  
\* 縦にまっすぐ割れる  
\* 薄くできる・・・古代の木簡  
\* 素材のまま建築に使える  
鉄筋コンクリートより優れる

走査型電子顕微鏡写真

スギ *Cryptomeria japonica*

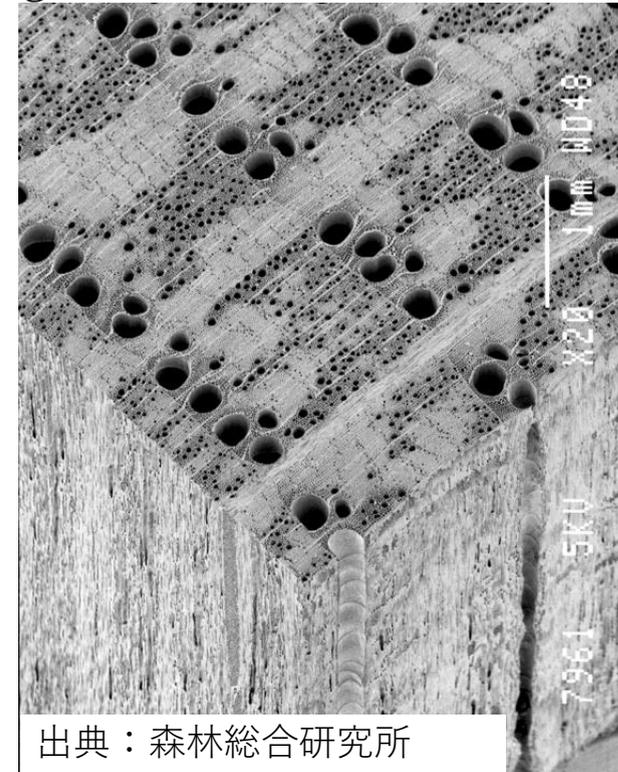


真っ直ぐ割れないのは広葉樹

広葉樹は**太くなれば**家具・内装・床材  
ナラ、サクラ、カエデ類  
\* 針葉樹より全般に硬い  
\* 樹種により色や木理に個性がある

## ミズナラ

*Quercus mongolica* var. *grosseserrata*



出典：森林総合研究所



国産材利用  
(カリモク家具)

多様な日本産広葉樹材

# 参考：輸入木材より多様な国内広葉樹

環孔材

コナラ、ミズナラ  
アベマキ、クヌギ  
(落葉ナラ類) Oak  
クリ Chestnut  
アキニレ ハルニレ Elm  
タモ類(ヤチダモ) Ash  
オニグルミ Black walnut  
ケヤキ  
センダン  
セン (ハリギリ)

種類が少ない  
外材

## 適材適所の「材」は人材ではなく木材



毎年1.2兆円の木材等を輸入

### 輸入材価格(2019年資料) 板材 /m<sup>3</sup>(大雑把な値)

- モミ類 Fir 3-4万円
- マツ類 Pine 2.5-4万円
- ナラ類 Oak 9万円
- カエデ類 Maple 16万円
- サクラ類 Cherry 15万円
- カバノキ類 Birch 10万円
- タモ類 Ash 14万円

### 国産針葉樹 柱 /m<sup>3</sup>(丸太)

- ヒノキ 6.5万円 (1.5万円)
- スギ 5.5万円(1万円)

### パルプチップ /m<sup>3</sup>

- 輸入 1-1.5万円
- 国産 0.5-0.7万円

放射孔材  
半環孔材

アカガシ(常緑カシ類)  
コジイ、スダジイ

散孔材

サクラ類 Black cherry  
カエデ類 Maple  
カバノキ類 Alder  
ブナ Beech  
ホオ  
トチ  
カツラ  
シナノキ

特徴的な樹種

キハダ(内樹皮:生薬)  
ウルシ(分泌液:漆塗)